

工作会 活動記録(2019 年 2 月)報告書

報告者:石原 則幸

行 事 名	工作会研修「お雛様工作」	担当 3 班
実 施 日 時	2019 年 2 月 13 日(水曜日)	9時30分 ~ 14時35分 天候:晴れ
場 所	売布ふらざこむ1 2F 21号会議室	
参 加 人 員	MNC 39 名	
参加者氏名	<p>フリー:中尾 1 名</p> <p>1班 :宮川、村上、松田(輝)、橘、大地(祥)、吉田、中村(幸)、荒井、大地(敬)、 鹿本、藤原(泰)、林 12名</p> <p>2班 :松田(秀)、今西、松生、小童、笠間、多田、田中、小林、高橋(博)、 森本、西岡、牛塚、竹内、小山 14名</p> <p>3班 :坂本、永田、飯盛、詠田、沼田、西島、永野、新宅、石原、上條、 花島、石堂 12名</p> <p>計 39 名</p>	
報 告	<p>午前:立ち雛</p> <p>これから作るお雛様の工作について材料と手順を説明、製作。</p> <p>材料は ・胴体 長さ 約 10cm、太さ約 3cm の枝を切断したもの</p> <p>・顔(目):麦、米(黒い古代米)など</p> <p>・扇子:輪切り材 ・簪:サルスベリの実</p> <p>・冠:ドングリ殻斗、クロチク、真竹等 ・笄:クロチク</p> <p>・十二単、束帯:千代紙、色紙</p> <p>・飾り台:かまぼこ板、色紙装飾</p> <p>製作順 胴体用材の端を 1mm くらいの厚さで 2 枚切り取り、顔にする。</p> <p>残りの木を斜め切りして 2 分し、男雛、女雛の胴体にする。</p> <p>ななめ切りした胴体に合わせて着物の型紙を厚紙で作る。</p> <p>この型紙に合わせて、千代紙、色紙を切り、胴体に貼り付ける。このとき少しずらして 貼り、重ね着のようにする。</p> <p>後、顔、頭等を仕上げ台に据え付ける。</p> <p>午後、午前の作業継続と中尾さんの準備したドングリによるお雛様工作。</p> <p>タイムスケジュール</p> <p>9:00~ 準備</p> <p>9:30~ 工作 立ち雛工作</p> <p>11:30~12:00 工作会の幹事・班長／副班長(運営委員会)</p> <p>12:30~13:00 班会議</p> <p>13:00~14:10 午前の工作継続、どんぐりお雛さん</p> <p>14:10~14:30 あと片付け</p> <p>14:30~14:35 まとめ・連絡事項</p>	
まとめ 感想	<p>お雛様作成 かなり難しかったようでした。非力な女性にはノコギリの扱い、ななめ切りなど 千代紙、色紙の切断、貼り合わせて着物作りなど、仕上がったお雛様を見ると個性いっぱい可 愛いのが出来ていました。みなさまお疲れ様でした。</p> <p>道具の後片付けの徹底が再度呼びかけられました。</p>	

工作会写真

見本 立ち雛



材料等



作業風景



作品



ドングリお雛さま

